

## TSRの日本／モスクワ鉄道輸送実証事業報告

国交／経産／農水省 荷主集めてパイロット事業の成果と利用説明

国土交通／経済産業／農林水産の3省は25日「日露・日欧間の物流におけるシベリア鉄道（TSR）の利用促進に向けた説明会」を都内の経産省で開いた。荷主100人超を集めて国交省国際物流課の榎名亮専門官が昨秋から暮れにかけての日本とロシア・モスクワ間のTSR貨物輸送パイロット事業の結果報告と今後について話を進めた。

報告では、日本港湾～ロシア・モスクワ駅間トータルのリードタイムは最短15日～30日程度で海上輸送の半分～3分の1程度に短縮可能で、さらに在庫圧縮での

コスト削減／食品輸送での販売可能日数の延長／海上輸送で間に合わない貨物の輸送に適するほか中欧班列では不可とされる危険品もTSRは必要な手続きで可能など、総合的な判断で「利用条件によって航空や海上輸送に対抗し得る主要輸送手段」と位置づけ、今後の利用への期待を表した。公募で物流事業者7社による商業貨物の振動／温湿度／リードタイム／手続きを詳細に実証した結果、輸送品質上も問題なしを確認した。質疑のなかでは

危険品はISOタンクコンテナも輸送可能を確認、またコスト面では航空輸送と海上輸送（ディープシー）の中間程度でリードタイム（海上よりかなり短い）との兼ね合いでは海上より割安感を示した。

一方で、釜山／ウラジオストク2日、上海と同3日の海上輸送力が日本と極東港湾は内地複数寄港もあって10日など長いことから競争力強化へ短縮が課題とも指摘があった。



# Shipping Guide



日刊(土・日曜、祭日休刊) 昭和50年12月20日 第3種郵便物認可 1部416円  
発行所 株式会社 オーシャンコマース 〒105-0013 東京都港区浜松町1丁目2番11号(葵ビル)  
TEL: (03) 3435-7470(編集)・7510(広告・スケジュール)・7630(販売・総務)  
FAX: (03) 3435-7892(編集・広告・スケジュール) ☎: 0120-827-773(購読・書籍のお問い合わせ、申し込み)